

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 将棋普及の広がりを作るために新たな将棋指導員に期待

日本将棋連盟は2019年1月27日の全国県支部連合会会長会議において、今後10年間の将棋連盟支部、支部会員、将棋指導員の到達目標を提起しました。

その内容は日本将棋連盟支部675支部を800支部、同支部会員数約17000人を20000人、同将棋指導員950名を2000名に拡大し、これを軸に全国の将棋の普及を大きく発展させようと言うものです。

2020年も4月に将棋指導員の資格審査が予定され、本年1月及び2月初旬には名古屋、福島、大阪、高松で将棋指導者講習会が開催されました。名古屋の開催は1月26日(日)に名古屋市中区にて32名の参加で開催されました。

2月末の指導員資格審査の締め切りでは全国では昨年の87名を上回る89名の方が新たに指導員の資格申請を行い、4月の将棋指導員資格審査に臨みます。今年の資格審査は昨年に比べ高松及び松江の2か所が増えて、札幌4、仙台5、東京27、名古屋15、大阪12、松江8、高松8、福岡10 になっています。

日本将棋連盟は2011年4月に公益社団法人の資格を認可され、日本の伝統文化としての将棋を広く普及する公益性を有する団体としての本格的に活動を開始しました。

折しも藤井聡太七段の出現によって将棋に対する国民的注目が飛躍的に高まり、子どもたちの将棋に対する関心が大きな広がりをみせています。

わたくしたち愛知県支部連合会は、26年前から子どもたちへの将棋の普及を活動の軸に据えて取り組みを進めてきました。最初は名古屋市の児童館6館から始まったこども将棋講座も、今では公民館、カルチャーセンター、ヤマダ電機、幼稚園、寺院、コミュニティーセンターなど大きく拡大しています。それでも「愛知県内のどこに住んでいても、小1時間で将棋が学べる環境の整備」という私たちの目標にはまだまだ課題が多くあります。

やはり愛知県内の市・町・村ごとに日本将棋連盟支部を設置しないと、標記の目標は達成できません。現在36支部、会員1265名、将棋指導員及び同補佐が約180名という現状ですが、相当の普及体制の充実が必要となります。将棋の普及に少しでも関心のある方のご協力を呼び掛けます。

(愛知県支部連合会052-253-9441平日午後1時～5時)

3月はコロナウイルスの影響で、残念ながら将棋大会、合宿、会議などをすべて中止せざるを得ませんでした。今後についてもまだまだ不透明ですが、いつ再開しても可能なように普及体制の整備を図っていきます。

2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う将棋関連イベント等の中止について

新型コロナウイルス感染拡大は、先の見通せない厳しい状況にあります。

3月31日現在で、世界の205の国・地域で感染者が発生しており、感染者数は76万4948人、死者は3万6751人と報じられています。日本でも感染者は2228人、死者は66人で、また愛知県は、感染者は178人で東京都、大阪府に次いで3番目に感染者が多い状況になっています。

こうしたことを受けて、将棋関係のイベント等も中止が相次いでおります。

2月21日に、日本将棋連盟は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、3月31日までの期間中、100名以上の集客が見込まれる将棋連盟主催のイベントは、急を要する場合を除き、全て中止、または延期とするとの決定が出されました。

また、3月19日(木)開催の政府の専門家会議では、爆発的患者急増(オーバーシュート)の懸念を表明しており、①感染が拡大しやすい人混み、②換気の悪い密閉空間、③近い距離で会話する環境の3条件の場所は避けるよう訴えています。

更に、外出自粛の要請が相次いでおり、都市封鎖の事態も取り沙汰されています。

東海普及連合会、愛知県支部連合会もこうした状況にあることから、主催者等の意向も踏まえ、将棋関連イベント等を中止しております。

【中止した主なイベント等】

- 2月27日(木) = 第78期A級順位戦最終局解説会
 - 水曜トーナメント = 3月11日から中止
 - 3月15日(日) = 名古屋市児童館講師団会議
 - 3月15日(日) = 第2回OKB将棋クラブ大垣杯
 - 3月21日(土) = 第302回愛知県支部連合会役員会
 - 3月21日(土)・22日(日) = ファミリーフェスタ2020こども将棋大会
 - 3月25日(水)・26日(木) = 栄将棋教室春休み子ども将棋講座(Sクラス)
 - 3月29日(日) = 東山植物園春休みよいこの将棋大会
 - 3月29日(日)～31日(火) = 第8回星空将棋合宿
 - 3月29日(日) = 第17回詰将棋解答選手権(チャンピオン戦)
 - 4月3日(金) = 名進研カップ第6回中部オール学生団体戦
 - 5月3日(日・祝) = 第33回アマチュア竜王戦愛知県大会(全国大会中止のため中止)
 - 5月3日(日・祝) = 第27回岡崎将棋まつり(秋頃に開催延期)
 - 5月6日(水・祝) = 一宮女流棋士100面指し指導対局(来年に延期)
 - 5月10日(日)第15回名古屋市長杯 名古屋・小・中学生将棋大会
- なお、4月5日(日)の将棋指導員資格審査は実施予定です。

4月以降も、中止の将棋関連イベントもあります。例えば、4月17日(金)～19日(日)に兵庫県神戸市において実施予定であった第49回支部将棋対抗戦、第27回シニア将棋名人戦は中止となっています。

今後とも、将棋関連イベント等の中止・延期の可能性は高い状況にあります。

引き続き、状況を見極めつつ、イベント等の実施・中止等を検討してまいります。いつでも実施できるような取組みは進めてまいりますので、皆様方の格別なご協力をお願いいたします。なお、イベント等の開催・中止等については、随時、東海普及連合会のHPに掲載いたします。

3 藤井聡太七段、B級2組に昇級するなど令和元年度も大活躍

藤井聡太七段は、3月4日開催の第78期順位戦C級1組最終局で真田圭一八段に勝利し、10戦全勝という素晴らしい内容で見事B級2組への昇級を果たしました。

2月4日の9回戦で高野秀行六段に勝利して9連勝で昇級が確定していましたが、10戦全勝という素晴らしい結果は、次期順位戦でも大いに活躍が期待されます。

また、第91期ヒューリック杯棋聖戦では決勝トーナメントに進出し、3月31日には菅井竜也八段に勝利し、ベスト4に進みました。

このまま勝ち進み、タイトル挑戦・獲得となれば史上最少年でのタイトル挑戦・獲得という快挙になりますので大いに注目されます。

また、第61期王位戦挑戦者決定リーグ戦では白組所属に所属して、好発進しており、王位戦タイトル挑戦も十分期待できる状況にあります。

王位戦第1局は、7月1日(水)～2日(木)に豊橋駅近くの「ホテルアークリッシュ豊橋」で開催予定です。

藤井聡太七段が木村一基王位に挑戦することになれば、地元開幕での王位戦となりますので、こちらも大いに注目されます。

そして、令和元年度の成績は、53勝12敗（勝率8割1分5厘）で、デビュー以来3年連続での勝率8割超えという偉業を達成しました。



4 中田章道七段門下の服部慎一郎三段が見事四段に昇段

中田章道七段門下の服部慎一郎三段が、3月7日(土)に実施された第66回奨励会三段リーグ戦最終日において見事2連勝し、14勝4敗という成績で三段リーグ戦1位となり、四段昇段を果たし、令和2年4月1日付けで四段昇段となりました。

板谷一門として、藤井聡太七段に続いての四段昇段ということになります。

今回の第66回奨励会三段リーグ戦最終日では、史上初の女性四段誕生かということで、西山朋佳三段に注目が集まるといふプレッシャーのかかる中、見事2連勝し、四段昇段を決めました。

服部三段は、初参加の第62回三段リーグ戦では、14勝4敗という好成績ながら、次点に甘んじたという苦い経験をしています。その後11勝、10勝、12勝と安定した成績を収めてきて、今回の昇段につなげました。

出身地は富山県富山市（師匠の中田章道七段も富山県出身）、1999年8月2日生まれの20歳ということで、前途有望な若手棋士として大いに活躍を期待します。



会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会のサイト (<http://shogitokai.sakura.ne.jp/>) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp